

開講年度	令和2年度	開講期間	後期
科目名	基礎理学療法学Ⅲ(病理学)		
担当教員	藤井 昌江		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	1単位	時間数	30時間
学習目標	病気の病因・経過・転帰について学ぶ。特に形態的・機能的変化について知る。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 病理学で学ぶこと 2. 第2章 細胞・組織の障害と修復 第3章 循環障害 3. 第4章 炎症と免疫、移植と再生医療 4. 第5章 感染症 5. 第6章 代謝障害 6. 第8章 先天異常と遺伝子異常 7. 第9章 腫瘍 8. 第10章 循環器系の疾患 9. 第12章 呼吸器系の疾患 10. 第16章 脳・神経・筋肉系の疾患 11. 第17章 骨・関節系の疾患 12. 第11章 血液・造血器系の疾患 13. 第13章 消化器系の疾患 14. 第14章 腎・泌尿器、生殖器系および乳腺の疾患 15. 第15章 内分泌系の疾患、他 		
教科書	『系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病のなりたちと回復の促進1』【著】坂本穆彦（医学書院）		
参考書			
評価方法	筆記試験		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	理学療法評価学Ⅲ		
担当教員	今野 哲男		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	正常な姿勢・動作についての理解をもとに、疾患特有の姿勢・動作についての知識と観察による動作分析について学修する。		
授業計画	16. 歩行分析総論 17. 歩行分析・ケーススタディ: 正常歩行 18. 歩行分析・ケーススタディ: 脳血管障害① 19. 立位・歩行分析・ケーススタディ: 股関節疾患① 20. 立位・歩行分析・ケーススタディ: 股関節疾患② 21. 立位・歩行分析・ケーススタディ: 股関節疾患③ 22. 立位・歩行分析・ケーススタディ: 膝関節疾患① 23. 立位・歩行分析・ケーススタディ: 膝関節疾患② 24. 立位・歩行分析・ケーススタディ: 膝関節疾患③ 25. 立位・歩行分析・パーキンソン病 26. 起居動作・パーキンソン病① 27. 起居動作・パーキンソン病② 28. 起居動作・脳血管障害 29. 表面筋電図による解析(座学) 30. まとめ		
教科書	『観察による歩行分析』【著】キルステン ゲッツ・ノイマン (医学書院) 『動作分析 臨床活用講座』【著】石井慎一郎 (メジカルビュー社)		
参考書	適宜紹介する		
評価方法	筆記試験		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	内部障害理学療法		
担当教員	久保田 千代美		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	循環器・代謝疾患は常に全身に及ぶ疾患のため病態の理解だけでなく、リスクに対する知識も必要になってくる。循環器・代謝疾患ごとのさまざまな病態や障害を理解し、医療現場での効果的療法・リスク管理を学んでいく。		
授業計画	16. 心臓の解剖と機能 17. 心電図① 18. 心電図② 19. 心電図③ 20. 心不全 21. 心不全に対するリハビリテーション 22. 虚血性心疾患 23. 心臓弁膜症 24. 大動脈疾患(大動脈瘤・大動脈解離) 25. 先天性心疾患 26. 末梢血管疾患① 27. 末梢血管疾患② 28. 代謝性疾患①(糖尿病①) 29. 代謝性疾患②(糖尿病の合併症) 30. 国家試験対策代謝性疾患③(糖尿病の治療)		
教科書	『ビジュアル実践リハ 呼吸・心臓リハビリテーション』【著】高橋哲也(羊土社) 『病気が見えるvol.2 循環器』【編】医療情報科学研究所(メディックメディア) 『病気が見えるvol.3 糖尿病・代謝・内分泌』【編】医療情報科学研究所(メディックメディア)		
参考書	『理学療法テキスト内部障害理学療法学 循環・代謝(15レクチャーシリーズ)』 【編】石川朗、玉木彰(中山書店)		
評価方法	筆記試験(前期試験と後期試験の合算で判定)、出席状況、授業態度		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	脊椎・脊髄障害理学療法		
担当教員	今野 哲男		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	脊髄損傷に伴う病態とその障害を理解し、脊髄損傷に対するリハビリテーション全般を学び、社会復帰にむけた総合的な援助ができるようになることを目指す。		
授業計画	16. 合併症②(関節拘縮・異所性骨化) 17. 合併症③(褥瘡) 18. 脊髄損傷の疫学調査, 脊髄損傷者の心理(障害受容) 19. 床上動作(寝返り動作・起き上がり動作)の理解① 20. 床上動作(寝返り動作・起き上がり動作)の理解② 21. 移乗動作の理解① 22. 移乗動作の理解② 23. 歩行, 下肢装具の理解① 24. 歩行, 下肢装具の理解② 25. 頸髄損傷者の車椅子の構造とその駆動方法の理解 26. 頸髄損傷者の自助具(日常生活編)の理解① 27. 頸髄損傷者の自助具(日常生活編)の理解② 28. 頸髄損傷者の日常生活動作訓練 29. 国家試験対策① 30. 国家試験対策②		
教科書	『脊髄損傷 理学療法マニュアル』【編】岩崎 洋 (文光堂)		
参考書	『脊髄損傷マニュアルーリハビリマネージメントー』 【編】神奈川県リハビリテーション病院脊髄損傷マニュアル編集委員会 (医学書院) 『頸髄損傷者のための 自己管理支援ハンドブック』 【編】国立別府重度障害者センター頸髄損傷者自己管理支援委員会 (中央法規)		
評価方法	期末試験、出席状況によって総合的に評価する。		
備考	日々復習を心掛けてください。		

開講年度	令和2年度	開講期間	後期
科目名	スポーツ傷害理学療法		
担当教員	村上 彰宏		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	1単位	時間数	30時間
学習目標	<p>スポーツ選手はけがをした後、社会復帰だけでなく競技復帰を目的としたリハビリテーションが必要である。整形外科疾患の知識だけでなく、スポーツ動作の特性に注目した外傷・障害、アスレティックリハビリテーションを学ぶ。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ傷害概論 2. 応急処置 3. 上肢のスポーツ傷害 4. 上肢のアスレティックリハビリテーション・実技 5. 下肢のスポーツ傷害 6. 下肢のアスレティックリハビリテーション・実技 7. 頸部・体幹のスポーツ傷害 8. 頸部・体幹のアスレティックリハビリテーション・実技 9. 各種競技の傷害特性 10. 整形外科的テスト・実技 11. テーピング概論 12. テーピング概論実技 13. 足底挿板概論・体験 14. 投球動作の評価とアスレティックリハビリテーション 15. まとめ 		
教科書	適宜必要資料配布		
参考書	『ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション』【著】神野哲也(羊土社)		
評価方法	筆記試験、出席状況、授業態度等		
備考	実技を行う時は動きやすい服装で出席してください。		

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	日常生活活動学		
担当教員	古志 幸		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	前期で学んだことを踏まえ、疾患ごとの特徴を鑑みた上での疾患別ADLを理解すること。基本的動作にアプローチする理学療法士ということを考え、起居動作から歩行までの介助・誘導方法を習得することを目標とする。		
授業計画	16. 基本的ADL①食事 17. 基本的ADL②整容・更衣 18. 基本的ADL③排泄・入浴 19. パーキンソン病のADL 20. 大腿骨頸部骨折のADL 21. 変形性膝関節症のADL 22. 関節リウマチのADL 23. 腰痛症のADL 24. 呼吸器疾患のADL① 25. 呼吸器疾患のADL② 26. 循環器のADL① 27. 循環器のADL② 28. 糖尿病のADL① 29. 糖尿病のADL② 30. 高齢者のADL		
教科書	『PT・OTビジュアルテキスト ADL』【編】柴 喜崇 下田 信明(羊土社) 『実践リハビリテーション・シリーズ 脳卒中の機能評価 SIASとFIM[基礎編]』 【編】千野 直一 他 (金原出版)		
参考書	『シンプル理学療法学シリーズ 日常生活活動学テキスト』【監】細田多穂 (南江堂)		
評価方法	期末試験・出席点・受講態度等。		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	理学療法技術論		
担当教員	江口 昌充		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	理学療法の基本的な治療技術を総合的に学習し、評価・治療技術について理解を深め、臨床上での評価方法・治療技術について演習をおこなう。		
授業計画	16. 膝関節の治療① 17. 膝関節の治療② 18. 足関節の治療① 19. 足関節の治療② 20. 体幹の治療① 21. 体幹の治療② 22. 運動連鎖 23. 姿勢筋緊張の正常化①(片麻痺) 24. 姿勢筋緊張の正常化②(片麻痺) 25. 起居動作への治療介入①(片麻痺) 26. 起居動作への治療介入②(片麻痺) 27. 座位での治療介入(片麻痺) 28. 座位から立位への治療介入(片麻痺) 29. 座位・立位バランスへの治療介入(片麻痺) 30. 歩行での治療介入(片麻痺)		
教科書	配布資料		
参考書	『実践PTノート—運動器障害の理学療法』【著】小柳磨毅(三輪書店) 『SJF 関節ファシリテーション』【著】宇都宮初夫(丸善出版) 『ステップス・トゥー・フォロー』【著】Patricia M. Davies(シュプリンガーフェアラーク東京)		
評価方法	期末試験 授業態度		
備考			

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	臨床実習前教育学		
担当教員	岩崎 圭佑 ・ 久保田 千代美		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	提示した症例に対し、評価項目の選択や問題点について再考する。 また、長期実習に向け、評価技術の向上を図り、治療プログラムについても学ぶ。		
授業計画	16. 評価実習の振り返り 17. 症例1 18. 症例1 19. 症例1 20. 症例1 21. 症例1 22. 症例2 23. 症例2 24. 症例2 25. 症例2 26. 症例2 27. 症例2 28. 実技演習 29. 実技演習 30. 実技演習		
教科書	『統合と解釈がよくわかる実践!理学療法評価学』【著】西守隆（医歯薬出版株式会社）		
参考書	『理学療法臨床実習サポートブック』【著】岡田慎一郎（医学書院）		
評価方法	出席、出席態度、発表、提出物、期末試験		
備考	それぞれ評価項目、問題点、治療プログラムについて発表し再考する。		

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	地域理学療法学		
担当教員	伊吹 太郎		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	高齢者・障がい者の在宅生活が、医療・福祉制度の中でも重要な課題となっている現在、地域におけるリハビリテーションの概念や機能、理学療法士業務と役割、他職種の業務と連携の重要性、基本的な法制度について学ぶ。		
授業計画	16. 訪問リハビリテーションの制度とメディカルチェック 17. 訪問リハビリテーションでの評価と治療（食事） 18. 訪問リハビリテーションでの評価と治療（排泄） 19. 訪問リハビリテーションでの評価と治療（整容） 20. 訪問リハビリテーションでの評価と治療（更衣） 21. 訪問リハビリテーションでの評価と治療（入浴・外出） 22. シーティングの基本について 23. シーティングの実際 24. 地域・居宅高齢者の体力増進とリスク管理について 25. 中枢神経系疾患に対する在宅での理学療法 26. 筋・骨格系疾患に対する在宅での理学療法 27. 事例を通してみる援助の実際 28. 3科目実力試験① 29. 3科目実力試験② 30. 3科目実力試験③		
教科書	使用しない		
参考書	『図説 訪問リハビリテーション』 【著】青山智 （三輪書店）		
評価方法	出席状況、授業態度、筆記試験		
備考	法律がよく改正されます。日頃より関連ニュースに興味を持つようにしましょう。		

開講年度	令和2年度	開講期間	通年
科目名	生活環境論		
担当教員	古志 幸		
学年	3年	学科	夜間部 理学
単位数	2単位	時間数	60(30)時間
学習目標	<p>国家試験演習を通して苦手分野の把握と「苦手な分野の抽出、解決法を見出し、問題を解決する」ためのスキルや方法について学ぶ。</p> <p>【目標】 理学療法(基礎分野)国家試験合格レベルにおける知識が習得できる。</p>		
授業計画	<p>16. 福祉住環境整備の進め方と関連職との連携</p> <p>17. 福祉住環境整備の実践的な進め方と必要な基礎知識</p> <p>18. 福祉住環境整備の共通基本技術(1)</p> <p>19. 福祉住環境整備の共通基本技術(2)</p> <p>20. 生活行為別福祉住環境整備の手法(1)</p> <p>21. 生活行為別福祉住環境整備の手法(2)</p> <p>22. 福祉用具の意味と適用</p> <p>23. 生活行為別にみた福祉用具の活用(1)</p> <p>24. 生活行為別にみた福祉用具の活用(2)</p> <p>25. 生活行為動作の実践に伴う知識(1)</p> <p>26. 生活行為動作の実践に伴う知識(2)</p> <p>27. 福祉住環境のための建築知識</p> <p>28. 症例を通しての福祉住環境整備(1)</p> <p>29. 症例を通しての福祉住環境整備(2)</p> <p>30. 国家試験対策</p>		
教科書	『福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト』 【著】東京商工会議所（東京商工会議所）		
参考書	『地域リハビリテーション原論』【著】大田仁史（医歯薬出版）		
評価方法	出席状況、課題、試験により総合的に評価する。		
備考	症例を通しての住環境を学ぶため、基礎となる「解剖学」「生理学」「運動学」においても復習しながら授業展開を行います。		